

令和6年度県庁活性化方針 ～「県民が主役」の県づくりを進めるために～

令和6年度県庁活性化方針を定め、新年度当初予算編成と県庁の活性化を一体的に推進することにより、県民のウェルビーイング向上に資する持続可能な県政推進体制を構築する。

また、施策立案や業務推進にあたっては、県民目線、スピード重視、現場主義を実践し、常に最終的な受益者である県民のウェルビーイング向上を重視する意識を徹底することとする。

1 令和6年度 of 取組み

(1) 業務の抜本的見直し・効率化

職員が新たな課題に積極的に取り組むことができるよう、今年度再構築する新グループウェア等のデジタルツールの活用やペーパーレス化の推進、官民協働事業レビューなど県民の声を踏まえた業務そのものの抜本的な見直し等により、業務の効率化を図る。

(2) 組織の活性化と多様な人材の活用

成長戦略及び八十八の具体策を推進し、新たな政策課題や県政の総合的な取り組みが必要な課題に戦略的かつ迅速に対応するため、幅広い業務に挑戦する職員を応援する取り組みのさらなる推進や、他団体との人事交流の促進等により組織の活性化を図る。また、民間ならではの感覚・発想や専門的な知識・経験を県政に取り入れるため、外部人材を積極的に活用する。

(3) 職員の育成・確保

複雑・多様化する行政課題や県民ニーズに対応するため、新たに策定する人材育成基本方針及び職員行動指針もふまえ、職員の主体的なキャリア形成の支援やリスクリングの機会の拡充、職員研修の充実、組織・地域の枠を越えて活躍する越境人材の育成、職員の意識改革に取り組むとともに、採用試験の受験者数の増大に向けた見直しやデジタル人材を含めた経験者採用の推進などにより優秀な人材の育成・確保を図る。

(4) DXによる働き方改革

デジタル技術の進展等の社会情勢の変化を踏まえ、行政手続のオンライン化、アナログ規制の見直し、AI・RPAの活用やテレワークの拡充等により効果的な行政サービスの提供と職員のウェルビーイングの向上につながるDX・働き方改革を推進する。

(5) ウェルビーイング経営の推進

男性の育休取得や女性活躍のさらなる推進などにより全ての職員が働きやすい職場づくりに取り組むとともに、共創スペース「コクリ」を活用した部局の垣根を越えた職員間のコミュニケーションの活性化、執務環境の整備等により、職員のエンゲージメント向上を図り、ウェルビーイング経営を推進する。

2 中長期的な取組み

(1) 公共施設マネジメントの推進

人口減少社会の到来など社会情勢の変化に対応するため、令和4年度に実施したファシリティマネジメント基礎調査の結果も参考に、国や市町村、民間等との役割分担による施設のあり方を考慮し、施設等の保有総量の適正化と最適な配置に向けて検討を進める。

(2) 官民連携、民間活力の活用

行政課題や地域課題が多様化する中、限られた職員や予算で県民サービスの維持・向上を図るため、民間事業者と連携して課題解決に取り組むとともに、費用対効果も踏まえながら、民間活力（資金や知恵、ノウハウ）を積極的に活用する。また、指定管理者の選定のあり方を検討し、より適切な施設運営に努める。

(3) 外郭団体を含めた組織の見直し

社会経済情勢の変化に応じて、官民連携や民間活力の導入、県内市町村との連携等により業務執行の効率化を図り、外郭団体を含めた組織について不断の見直しを行う。